

## 2016年国民平和大行進 福島から栃木へ



リレー旗が栃木県に引き渡され、一五日間の栃木県の国民平和大行進がスタートしました。



述と経さ松行京道を決過ん永進へからべました。ら意報よ洋す通東

午後二時から、那須町の夕狩りははじめに、地元の人たちによる歌声でオープニング。福島の実行委員長あいさつにつづき、昨年の東京→広島に引き続き、今年は北海道から東京へ向けての行進となりました。これが告り子るし東



が一継なに、「原爆の実相を一人ひとり受けとめる機会が必要」との思いをノートに書いてくれました。「はだしのゲン」を見たひとは、しみじみ考えさせられました。「再びこんな戦争を起こさせないよう憲法9条を守りたい」など多くの感想が寄せられました。



### 原爆パネル展示、はだしゲンの上映会



6月17、18日の両日、新日本婦人の会宇都宮支部は、原爆パネル展&「はだしのゲン」、「一歩でも二歩でも」の上映会を宇都宮市総合コミュニティーロビー開催しました。

購入の要請をし、宇都宮市の平和親善大使広島派遣事業実行委員会が購入したパネルを展示しました。

原爆パネル見てくれ若い男性は「原爆の実相を一人ひとり受けとめる機会が必要」との思いをノートに書いてくれました。

「はだしのゲン」を見たひとは、しみじみ考えさせられました。「再びこんな戦争を起こさせないよう憲法9条を守りたい」など多くの感想が寄せられました。

### 今年も「原爆の残り火」分灯式



さくら市の東輪寺で、「原爆の残り火」の分灯式が行われました。檀家の方々や御詠歌を引き継いでいる女性たち、県内各地から駆けつけた人たちなど40数名ほどの人が参加しました。

15年前に、住職さんが宇都宮で「原爆の残り火」の分灯を受け、同寺で灯しつづけています。毎年、国民平和大行進実行委員会への分灯が行われています。

分灯式では、平和への思いを込めた御詠歌が歌われ、戦争体験談を聴き、ハーモニカ演奏を聞きながら参加者全員で平和への希望を込めて明るく歌いました。

最後に、栃木県平和行進実行委員長の天谷さんより「世界平和の実現はまず一人ひとりの心に平和の祈りを灯すこと。その象徴としてこの原爆の残り火を先頭に元気いっぱい市民にアピールして行進をして行きたい」との決意が述べられて分灯式は閉式となりました。

### 原水爆禁止世界大会に参加を！

8月4日(木)~6日(土) 広島大会